



議会報告会

～開かれた議会をめざして～



本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

目次

- ・ 議会の概要について p 1～p11
- ・ 総務文教委員会について p12～p15
- ・ 市民福祉委員会について p16～p20
- ・ 都市経済委員会について p21～p25
- ・ 広報広聴委員会について p26～p27

議会について

1

米子市議会基本条例第1条（目的）

この条例は、二元代表制の下、合議制の機関である議会の役割を踏まえ、市民及び市長等との関係、米子市議会(以下「議会」という。)及び米子市議会議員(以下「議員」という。)の活動原則等の議会に関する基本的事項を定めることにより、市民の負託に的確に応え、もって市民福祉の向上と公正で民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

（平成26年7月1日施行）

議会報告会について

2

米子市議会基本条例第5条の2（議会報告会）

議会は、市政の諸課題に対処するため、市民と市政に関する情報及び意見を交換する場として議会報告会を開催するものとする。

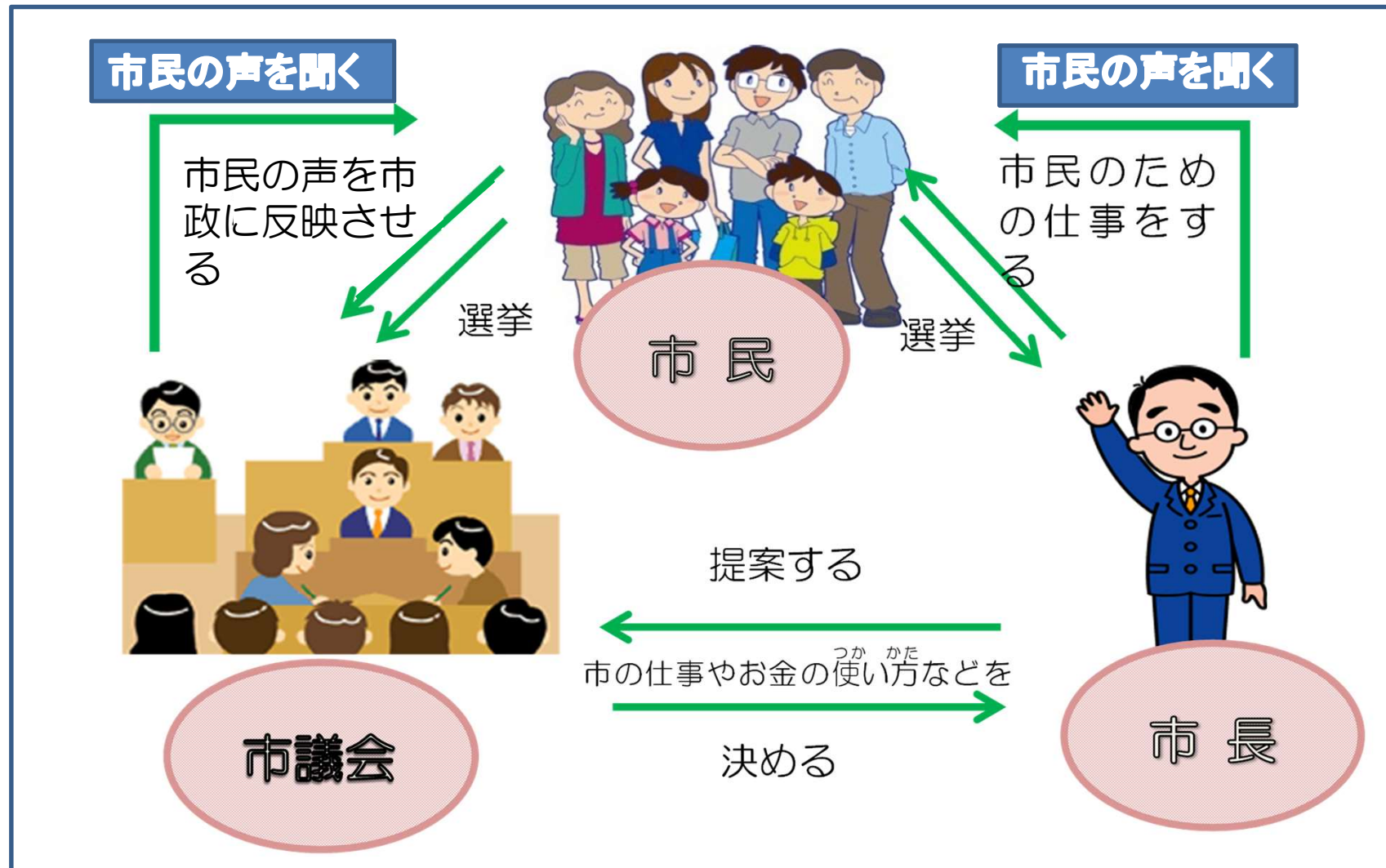
米子市議会議会報告会開催要綱抜粋

米子市議会議会報告会開催要綱を定め、自治連合会4ブロックごとに、年1回開催する。

報告会は、会派及び議員個人の見解を述べる場ではないことに留意し、市民からの質問に対しては、議会としての考えをもって回答する。

市民・市議会・市長の関係

3



委員会の構成について

4

議会運営委員会（8人）

【常任委員会】

総務文教委員会（9人）

市民福祉委員会（8人）

都市経済委員会（9人）

予算決算委員会（全議員26人）

【特別委員会】

基地問題等調査特別委員会（8人）

原子力発電・エネルギー問題等調査特別委員会（9人）

広報広聴委員会（8人）

本会議と委員会の関係について

4

市議会の流れ

市議会の仕事は
どのように進んでいくのでしょうか。



本会議 1



議案の内容が説明され、議員は質問を行い市長などが答える。その後、担当する委員会に議案を振り分ける。



委員会



職員から詳しく説明を聞いたり、質問をしたりして専門的に審査を行う。



本会議 2



各委員会の審査結果を報告。その後、議案について賛成か反対かを多数決で決定する。



よりよいまちづくりの実現



委員会の様子

6



【予算決算委員会】



【総務文教委員会】



【市民福祉委員会】



【都市経済委員会】



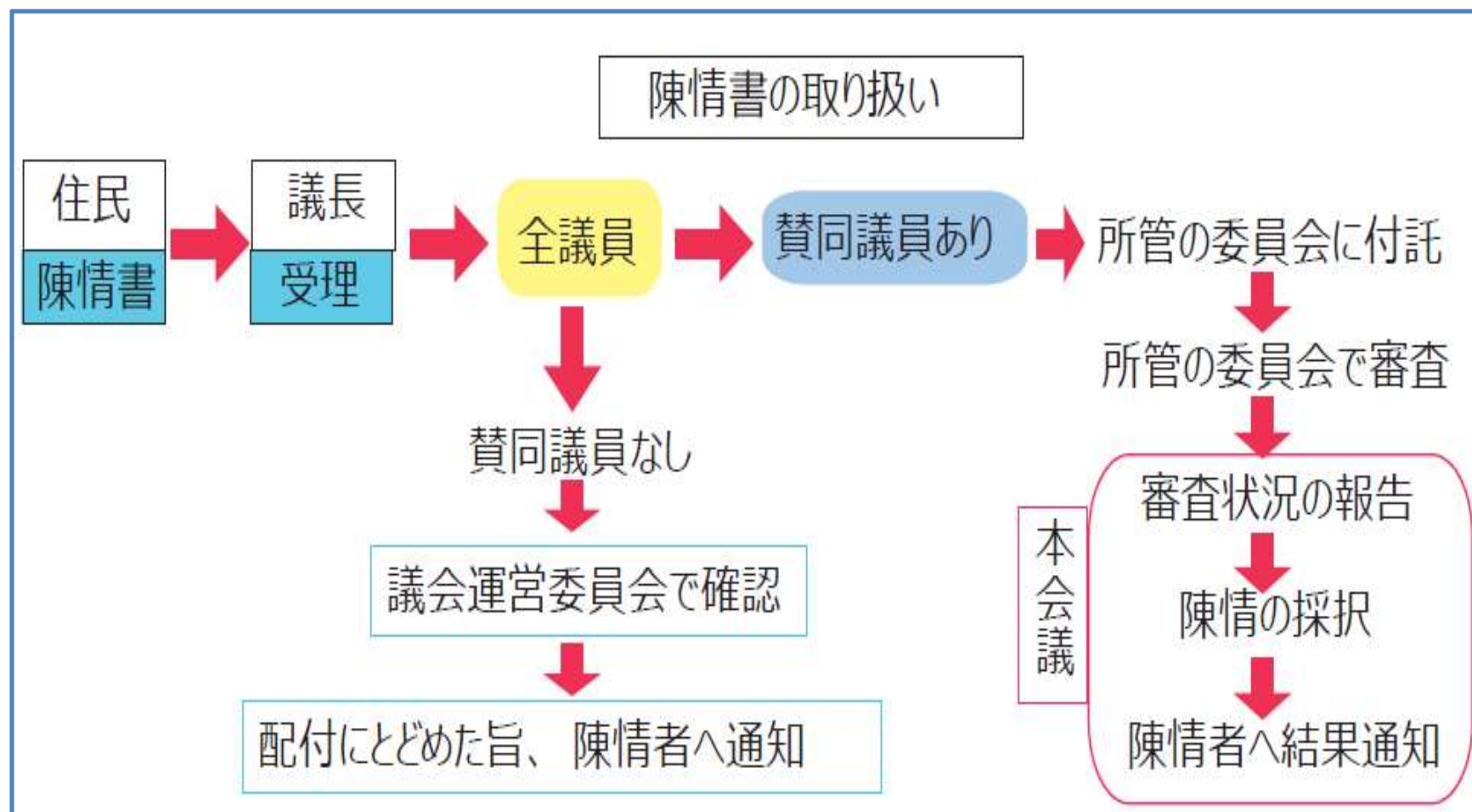
【原子力発電・エネルギー
問題等調査特別委員会】



【広報広聴委員会】

陳情：市民からの政策についての提案

7



平成30年9月議会に提出された陳情書

8

同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議開始を求める陳情

同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議開始を求める陳情

陳情の趣旨

米子市において、性的マイノリティが自分らしく生きられ、多様性を尊重する地域を創るため、同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議を開始して下さい。

理由

家族を形成し、社会から承認を得ることは、人としての根源的な欲求です。日本ではこれまで、多様な性のあり方を前提にした社会の制度化がなされてこなかったため、性的マイノリティの人々は、社会制度の枠組みから排除されてきました。しかし、同性を生活上のパートナーとする人々に、法的な家族を認める制度は、いまや世界的な趨勢となっています。

2015年から東京都渋谷区や世田谷区で同性パートナーの証書を発行する「同性パートナーシップ証明制度」が開始され、また、伊賀市、宝塚市、那覇市、札幌市、福岡市、大阪市、中野区でも、同性パートナーの承認制度が開始されました。

さらに、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、千葉市、さいたま市の9都県市では、2017年12月4日から10日までの人権週間を中心に「あなたはあなたのままでいい」を共通テーマとして、LGBTへの配慮促進キャンペーンを実施し、啓発活動を行いました。

民間では、社員の同性カップルにも異性間の結婚と同様の福利厚生を適用している企業もあり、生命保険会社では同性カップル間でも死亡保険金の受取人として指定することを認めるようになってきています。

このような社会背景の中、米子市においても、性的マイノリティが自分らしく生きられる社会を実現するため、まずは、どのような行政課題があるのかを研究し、同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議の開始を求めます。

米子市議会委

LGBT陳情採択

「パートナー制度」協議へ

米子市議会委員会は30日、性的少数者（LGBT）が自分らしく生きられる社会をつくるため、同性カップルを婚姻関係に相当する「パートナー」として承認する制度の導入に向けて協議を開始する市に求める陳情を全会一致で採択した。10月3日の本会議で採択される見込み。米子市では、同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議は、市内で初めて行われる。米子市議会委員会は、この陳情を全会一致で採択し、協議を開始する市に求める陳情を全会一致で採択した。米子市議会委員会は、この陳情を全会一致で採択し、協議を開始する市に求める陳情を全会一致で採択した。

30.9.26 山陰中央新報

米子市議会委員会は30日、性的少数者（LGBT）が自分らしく生きられる社会をつくるため、同性カップルを婚姻関係に相当する「パートナー」として承認する制度の導入に向けて協議を開始する市に求める陳情を全会一致で採択した。10月3日の本会議で採択される見込み。米子市では、同性パートナーシップの承認制度の導入に向けた協議は、市内で初めて行われる。米子市議会委員会は、この陳情を全会一致で採択し、協議を開始する市に求める陳情を全会一致で採択した。

【日本海新聞、山陰中央新報】

平成29年度 決算

9

【一般会計決算】

歳入660億4,932万円、歳出646億3,269万円となり、収支は13億2,555万円の黒字決算となった。

【前年度比較】

子育て関連経費やクリーンセンター長寿命化事業の大幅増等により、民生費・衛生費が伸びた結果、全体で対前年度比2.5%(15億7,617万円)の増となった。

- ・ クリーンセンター長寿命化事業 24億4,721万円増
- ・ 保育所等整備計画 6億9,569万円増

平成30年度 予算

10

主な事業	金額（千円）
公共交通活性化推進事業	5,235
シティプロモーション推進事業	1,500
大山開山1300年祭関連事業	81,401
米子城跡保存整備事業	33,903
ブロック塀緊急対策事業	131,346
準要保護児童・生徒就学援助事業(入学前支給分)	22,136
こども総合相談窓口運営事業	45,231

平成31年度 予算

11

主な事業	金額（千円）
非常用電源整備事業	117,467
本庁舎設備等整備事業	17,230
「ずっと元気にエンジョイ！よなご」フレイル対策モデル事業	8,163
未利用エネルギー活用調査事業	3,261
Yonago ヒカリ☆マチ アートプロジェクト事業	7,500
合併処理浄化槽設置事業	91,500
部活動指導員配置事業	3,202

総務文教委員会

12

総務部

- ・シティプロモーションの推進による本市認知度の向上
- ・自主防災組織の結成促進及び活動支援

総合政策部

- ・公共交通の利便性の向上（地域交通のビジョンづくり）
- ・中心市街地（角盤町エリア・駅前周辺地区）活性化の推進

教育委員会

- ・公共施設等総合管理計画に基づく施設の個別施設計画の策定
- ・特別支援教育に係る取組の推進

自主防災組織育成事業

13

平成30年度 当初予算で可決

災害時の被害の軽減を図るため、市民の共助の精神に基づく自主的な防災活動を支援するとともに、地域の防災リーダーを育成する必要がある。

平成31年3月現在、結成率が約70%へ向上した。

(平成32年度 計画目標である64%を上回る。)

小中学校普通教室空調施設整備事業

14

平成30年度 補正予算で可決

地球温暖化の影響による近年の猛暑の影響により、児童の学習環境は以前と比べて厳しいものとなっているため、児童の学習環境を整え、健康を保持する必要がある。

平成31年度中に事業完了の予定。



本庁舎設備等整備事業

15

平成31年度 当初予算で可決

- ① 1階多目的トイレ内
ベビーチェア等設置
- ② 自動火災報知設備改修
- ③ スロープ等整備（東側玄関）
- ④ 本庁舎防犯カメラ設置事業等

市民福祉委員会

16

市民生活部

- ・ 自然環境の保全及び活用の取組
- ・ 米子市クリーンセンター長寿命化事業の実施

福祉保健部

- ・ 介護予防・フレイル対策の推進
- ・ 障がい者(児)の総合的な相談支援の充実

こども未来局

- ・ 5歳児健診の適正な実施及び早期支援の実施
- ・ 公立保育所の民営化、統廃合計画の構築

5歳児健康診査事業について

17

平成30年度 当初予算で可決

発達や情緒に課題を持ち、集団行動の場面で、社会性に課題がある子どもを早期に発見することで児童や保護者の困り感に寄り添いながら早期に支援を開始する。

児童への就学に向けて早期に適切な対応を行い、併せて保護者の子育てや就学への不安を解消することで、児童の健全な成長のための支援につなげていく。

「ずっと元気にエンジョイ！よなご」 フレイル対策モデル事業

18

平成31年度 当初予算で可決

フレイルとは、運動機能や認知機能の低下、慢性疾患などの影響で高齢者の心身が虚弱となった状態のこと。

要介護状態の発生を防ぎ、誰もがより長く元気に活躍できるように健康寿命の延伸を図るために、早期発見・早期支援を行う必要がありフレイル予防・改善に有用な介入プログラムを作成し、フレイル状態の進行抑制及び要介護状態の発生防止を図る。

公立保育所の統廃合について ①

19

今後の方向性について議論を重ねていきます。

公立保育所を統合建替えることで、機能強化し、子育て支援拠点として整備する。

幼児教育をより充実することで就学に向けて円滑な移行ができるよう取り組む。

関係保護者、保育需要、民間事業者の動向、整備の緊急性等勘案したうえで柔軟な見直しを行いながら進める。

公立保育所の統廃合について ②

20

公立保育所建替えに係る個別構想

	公立保育園名	方向性	定員	経年	付帯施設
統合園 A	淀江保育園 宇田川保育園	公立統合存続	110 45	43 41	子育て支援センター
統合民営化	春日保育園	米子福祉会と統合 (巖保育園)	45	41	—
統合園 B	西保育園 ねむの木保育園	公立統合存続	120 58	36 45	子育て支援センター
存続園 C	東保育園	公立存続	120	38	子育て支援センター
統合園 D	彦名保育園 富益保育園	公立統合存続	90 90	37 38	子育て支援センター
統合園 E	あがた保育園 こたか保育園	公立統合存続	90 60	35 31	子育て支援センター
統合民営化	南保育園	米子福祉会と統合 (成実保育園)	90	39	—
統合民営化	崎津保育園 小鳩保育園	米子福祉会と統合 (和田保育園)	90 90	40 46	—

* 統合民営化については、米子市独自の構想であり、米子福祉会の合意に基づくものではない。

* 経年（経過年数）は、H30.4.1 現在

都市経済委員会

21

経済部

- ・ 企業誘致の推進と新たな工業用地の確保

文化観光局

- ・ 米子城跡の保存整備の推進

農林水産振興局

- ・ 6次産業化と農商工連携の推進

都市整備部

- ・ 米子駅南北自由通路等整備事業の推進

下水道部

- ・ 水洗化普及促進の強化

市道安倍三柳線改良事業 ①

22

平成30年度 補正予算で可決

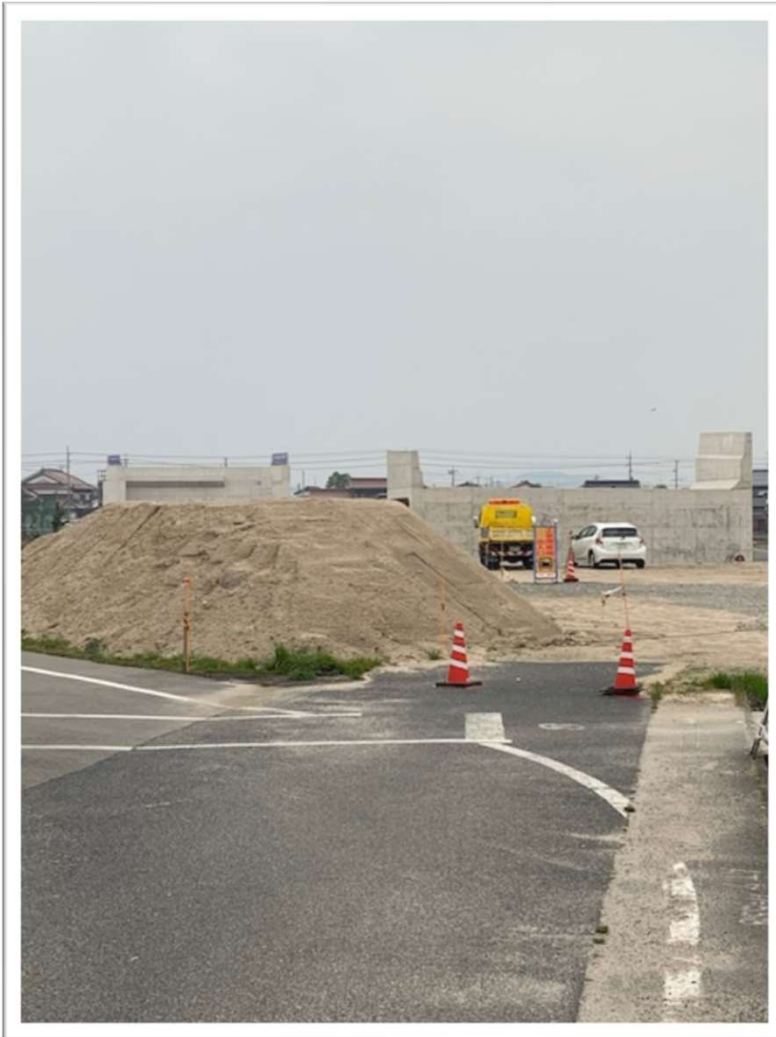
市道外浜街道線から県道両三柳西福原線（外浜産業道路）までの間の整備を行う。

弓浜部の骨格道路と位置付けられている重要な道路であり、市街地へのアクセスを容易にし、交通渋滞の緩和を図るために事業を実施する。

2020年度中の完成予定。

市道安倍三柳線改良事業 ②

23



【産業道路側より】



【浜橋交差点側より】

特定空家等除却補助金

24

平成31年度 当初予算で可決

著しく管理が不全な特定空家等を対象として所有者等が自ら除却する場合に必要な経費を助成する。

特定空家等の除却を促し、地域住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図る。

所有者等が自ら特定空家等の除却に取り組みやすい環境を整備することで、所有者等による特定空家等の除却が期待できる。

米子城跡保存整備事業

25

今後の方向性について議論を重ねていきます。

米子城跡を適切に保存し後世に伝えていくとともに、その活用を図るため、保存活用計画（平成28年度策定）及び整備基本計画（平成30年度策定）に基づいた史跡整備を行う。

史跡として適切に保存し、後世に伝えていくとともに、市民がその価値や魅力について理解を深められるよう、活用・整備を図っていくことが必要である。

平成31年度は、史跡保全と来訪者の安全を確保するため、危険木の伐採を行い、倒木による遺構への影響を防止し、また発掘調査を行い、園路整備に向けた資料収集を行う。

広報広聴委員会（その1）

26

【議会だより】

より読みやすい広報紙をめざし、

- ①文字を大きく、 ②紙面のレイアウト変更、
- ③表紙の写真の募集、 ④裏表紙をカラーに変更。

【議会ホームページ】

より議会の情報を公開するために、

- ①予算決算委員会のインターネット中継開始
- ②インターネット中継の案内をわかりやすく
- ③委員会の会議録の公開開始

広報広聴委員会（その2）

27

【議会報告会でのアンケートより】

- ・ 事前に資料の掲載をしてほしい。
→ 4月1日より掲載しました。
- ・ 意見交換の時間を長くしてほしい。
→ 時間配分を見直しました。

**より開かれた議会報告会の開催をめざします。
また、皆様の貴重なご意見をお待ちしております。**

ご清聴ありがとうございました

